



平成29年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 アース製薬株式会社
 コード番号 4985 URL <http://www.earth-chem.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川端 克宜
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営統括部統括部長 (氏名) 三枚堂 正悟

TEL 03-5207-7458

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	99,709	3.4	9,670	16.1	9,865	14.1	6,252	12.2
28年12月期第2四半期	96,410	3.1	11,523	4.8	11,488	2.0	7,118	7.9

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 6,736百万円 (5.4%) 28年12月期第2四半期 6,392百万円 (15.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	309.60	
28年12月期第2四半期	352.48	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	129,963	52,632	36.4
28年12月期	107,366	49,192	40.5

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 47,340百万円 28年12月期 43,520百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		115.00	115.00
29年12月期		0.00			
29年12月期(予想)				115.00	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	181,700	7.8	4,600	17.1	5,000	16.5	2,000	47.4	99.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	20,200,000 株	28年12月期	20,200,000 株
期末自己株式数	29年12月期2Q	4,538 株	28年12月期	4,421 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	20,195,537 株	28年12月期2Q	20,195,750 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.4「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済について、個人消費は緩やかに持ち直し、企業収益も改善するなど、国内景気は緩やかな回復基調を続けています。一方、海外において、当社グループが展開に注力するアジア地域では、景気に持ち直しの動きが見られていますが、経済の先行きや政策に関する不確実性による影響を注視すべき状況であります。

このような経済状況のなか、当社グループは新たな経営理念「生命と暮らしに寄り添い、地球との共生を実現する。」のもと「お客様目線による市場創造」を重視しており、現在進行中の中期経営計画では『海外展開の強化』『グループシナジーの最大化』『収益力の向上』に加え、従来からの取り組みを発展・強化することをテーマに掲げ、中期経営目標“2020年連結売上高2,000億円、連結経常利益150億円の達成”に向けて、成長力と収益性の双方を高める経営を進めています。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績については、主力である殺虫剤が市場の低調な推移により前年を下回ったものの、口腔衛生用品や入浴剤といった日用品新製品を中心に販売を伸ばしたことなどにより、売上高は997億9百万円(前年同期比3.4%増)となりました。一方、利益については売上増に伴い売上総利益は増加したものの、販売費及び一般管理費が増加したことが影響し、営業利益96億70百万円(同16.1%減)、経常利益98億65百万円(同14.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益62億52百万円(同12.2%減)となりました。

なお、当社グループは殺虫剤の売上構成比が高く、売上高が3月～7月に偏るといった季節性がある一方、人件費等の固定費は年間を通じてほぼ均等に発生するため、四半期毎の売上高や利益には相応の影響があります。

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

【家庭用品事業】

家庭用品事業におきましては、日本国内において新製品の発売や製品のリニューアルにより市場の活性化に努めるとともに、収益力の向上に向けて経営課題である返品削減に関する取り組みを実施しております。一方、海外ではタイ・中国を中心に経営資源を積極的に投入することで売上規模の拡大に努めております。また、当第2四半期連結会計期間において、ベトナムにて家庭用品を製造販売するA My Gia Joint Stock Companyの株式を取得し、新たな海外拠点の獲得によって、海外展開の強化を一層推進する取り組みを実施しております。

これらの取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間における当事業の業績について、売上高は933億47百万円(前年同期比3.6%増)となりましたが、販売促進費が増加したことが影響し、セグメント利益(営業利益)は92億59百万円(同12.4%減)となりました。

(家庭用品事業の業績)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
殺虫剤部門	44,829	45,294	465	1.0%
日用品部門	41,394	43,625	2,230	5.4%
口腔衛生用品	17,783	18,965	1,182	6.7%
入浴剤	8,877	9,315	437	4.9%
その他日用品	14,733	15,343	610	4.1%
ペット用品・その他部門	3,847	4,428	580	15.1%
売上高合計	90,071	93,347	3,276	3.6%
セグメント利益(営業利益)	10,567	9,259	△1,307	△12.4%

(注) 1. 売上高にはセグメント間及びセグメント内の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第2四半期連結累計期間では4,367百万円、当第2四半期連結累計期間では5,122百万円です。

2. 第1四半期連結会計期間より販売区分について内訳を一部変更いたしました。なお、前第2四半期連結累計期間の表記については、変更後の表示基準に沿っています。

部門別の主な状況は次のとおりであります。

殺虫剤部門

殺虫剤部門においては、需要が高まり始める春先から店頭消化の最盛期を迎える6月まで、最高気温が前年を下回る週が続いた影響などにより、国内家庭用殺虫剤市場は前年を下回る推移でありました。一方で、6月末時点における当社の市場シェア(自社推計)は57.1%(前年同期比 0.4ポイント増)となりました。

このような状況のなか、毒餌剤『ブラックキャップ』などゴキブリ用殺虫剤は好調に売上を伸ばし、また新製品のゴキブリ殺虫スプレー『ゴキブッシュプロ』も売上に寄与しましたが、市場の低調な推移が影響し、ハエ・蚊用殺虫剤や虫よけ用品の売上が前年を下回りました。

一方、海外販売においては、タイ・中国を中心に積極的な販売促進施策を実施したことが奏功し、現地通貨ベース、円換算ベースとも伸長しました。

以上の結果、当部門全体の売上高は452億94百万円(前年同期比 1.0%増)となりました。

なお、直近の殺虫剤市場は、気温の上昇とともにヒアリやアカカミアリなどの外来種の脅威を背景に、6月末時点から大きく回復しております。

日用品部門

口腔衛生用品分野においては、新製品の洗口液『モンダミン プレミアムケア センシティブ』が売上に寄与したことに加え、知覚過敏予防ハミガキ『シュミテクト』が引き続き順調に売上を伸ばしたことで、売上高は189億65百万円(前年同期比 6.7%増)となりました。

入浴剤分野においては、発泡入浴剤『温泡』が順調に売上を伸ばしたほか、粉末入浴剤『バスクリン』も好調に推移したことで、6月末時点における当社グループの市場シェア(自社推計)は49.9%(前年同期比1.1ポイント増)と伸長し、売上高は93億15百万円(同 4.9%増)となりました。

その他日用品分野においては、消臭芳香剤『スッキーリ!』や保冷剤『アイスノン』シリーズが売上を伸ばしたことなどにより、売上高は153億43百万円(同 4.1%増)となりました。

以上の結果、当部門の売上高は436億25百万円(同 5.4%増)となりました。

ペット用品・その他部門

ペット用品・その他部門においては、前年11月に連結子会社化したジョンソントレーディング㈱による売上寄与などにより、売上高は44億28百万円(前年同期比15.1%増)となりました。

[総合環境衛生事業]

総合環境衛生事業におきましては、主要な顧客層である食品関連工場、医薬品・化粧品関連工場、包材関連工場が、原料やエネルギーコスト高、工場の統廃合などを背景にコスト削減への動きを強くする一方で、昨今の食品の異物混入事件や事故の発生により「安全・安心」に対する意識はさらに高まり、当事業が提供する高品質の衛生管理サービスへのニーズが高まる状況でありました。

このような状況のなか、将来の成長に向けて、国内では新設した彩都総合研究所を拠点に研究・技術開発や人材の教育訓練を進めるとともに、業務効率の改善を目的としたソフトウェア投資を行うことで、差別化された品質保証サービスを提供し、契約の維持・拡大に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は115億41百万円(前年同期比7.3%増)、セグメント利益(営業利益)は7億11百万円(同 7.7%減)となりました。

(総合環境衛生事業の業績)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	10,759	11,541	782	7.3%
セグメント利益(営業利益)	770	711	△59	△7.7%

(注) 売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第2四半期連結累計期間では52百万円、当第2四半期連結累計期間では56百万円です。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べて225億97百万円増加し、1,299億63百万円となりました。これは主に、売上債権が増加したことに加え、A My Gia Joint Stock Companyの株式取得に伴いのれんを計上したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間における負債は、前連結会計年度末に比べて191億56百万円増加し、773億30百万円となりました。これは主に、仕入債務、借入金、未払法人税等が増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間における純資産は、前連結会計年度末に比べて34億40百万円増加し、526億32百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことなどによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて4.1ポイント低下し、36.4%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比較して28億44百万円減少し、91億35百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因については、次のとおりであります。

営業活動の結果、増加した資金は61億56百万円(前年同期は86億82百万円の増加)となりました。この主な内容は、税金等調整前四半期純利益99億23百万円(同 114億75百万円)、減価償却費13億19百万円(同 11億24百万円)、のれん償却額10億1百万円(同 9億54百万円)、売上債権の増加140億93百万円(同 149億54百万円の増加)、仕入債務の増加77億74百万円(同 75億69百万円の増加)であります。

投資活動の結果、減少した資金は110億17百万円(前年同期は21億59百万円の減少)となりました。この主な内容は、有形固定資産の取得による支出14億14百万円(同 29億13百万円)、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出92億14百万円(同 一百万円)であります。

財務活動の結果、増加した資金は20億23百万円(前年同期は16億12百万円の減少)となりました。この主な内容は、短期借入金の増加額66億88百万円(同 3億96百万円の減少)、長期借入金の返済による支出13億38百万円(同 17億36百万円)、配当金の支払額23億22百万円(同 22億21百万円)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

A My Gia Joint Stock Companyの子会社化に伴う連結業績への影響及び最近の業績等の動向を踏まえ、平成29年2月13日に公表した通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成29年8月4日)公表の「平成29年12月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、様々な要因の変化により実際の業績とは大きく異なる場合があります。

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,979	9,135
受取手形及び売掛金	19,460	33,689
商品及び製品	16,997	19,108
仕掛品	1,088	842
原材料及び貯蔵品	5,073	4,011
繰延税金資産	1,231	1,414
その他	2,084	2,162
貸倒引当金	△31	△74
流動資産合計	57,884	70,289
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,276	27,486
減価償却累計額及び減損損失累計額	△12,116	△12,564
建物及び構築物(純額)	12,159	14,922
機械装置及び運搬具	10,539	12,606
減価償却累計額	△8,299	△8,666
機械装置及び運搬具(純額)	2,239	3,940
土地	7,887	7,909
リース資産	521	517
減価償却累計額	△253	△303
リース資産(純額)	267	213
建設仮勘定	4,418	1,289
その他	7,657	7,949
減価償却累計額	△6,198	△6,390
その他(純額)	1,458	1,559
有形固定資産合計	28,431	29,835
無形固定資産		
のれん	10,834	18,645
リース資産	19	16
その他	1,279	1,322
無形固定資産合計	12,132	19,983
投資その他の資産		
投資有価証券	5,828	6,601
退職給付に係る資産	2,339	2,454
繰延税金資産	28	26
その他	727	788
貸倒引当金	△6	△16
投資その他の資産合計	8,917	9,854
固定資産合計	49,482	59,673
資産合計	107,366	129,963

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,925	33,861
短期借入金	4,997	11,703
1年内返済予定の長期借入金	2,667	2,672
未払金	6,560	7,869
未払法人税等	1,415	3,797
未払消費税等	502	975
賞与引当金	483	198
返品調整引当金	825	1,840
その他	3,786	4,700
流動負債合計	47,165	67,620
固定負債		
長期借入金	7,838	6,524
繰延税金負債	1,065	1,250
役員退職慰労引当金	154	102
退職給付に係る負債	670	634
資産除去債務	430	430
その他	849	767
固定負債合計	11,008	9,710
負債合計	58,174	77,330
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,377	3,377
資本剰余金	3,168	2,923
利益剰余金	35,566	39,496
自己株式	△13	△14
株主資本合計	42,099	45,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,329	1,670
為替換算調整勘定	374	99
退職給付に係る調整累計額	△282	△213
その他の包括利益累計額合計	1,420	1,556
非支配株主持分	5,672	5,291
純資産合計	49,192	52,632
負債純資産合計	107,366	129,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	96,410	99,709
売上原価	56,871	58,700
売上総利益	39,539	41,009
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	2,733	2,751
広告宣伝費	5,237	5,720
販売促進費	4,888	6,429
貸倒引当金繰入額	19	56
給料及び手当	6,213	6,635
賞与引当金繰入額	222	162
役員退職慰労引当金繰入額	9	13
旅費及び交通費	808	861
減価償却費	349	391
のれん償却額	954	1,001
地代家賃	495	534
研究開発費	1,274	1,334
その他	4,808	5,446
販売費及び一般管理費合計	28,015	31,338
営業利益	11,523	9,670
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	30	54
受取ロイヤリティー	4	3
受取手数料	20	20
受取家賃	79	52
その他	142	137
営業外収益合計	283	276
営業外費用		
支払利息	44	43
為替差損	255	0
減価償却費	10	-
たな卸資産廃棄損	0	2
その他	6	33
営業外費用合計	318	80
経常利益	11,488	9,865

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	28	0
関係会社清算益	8	90
特別利益合計	36	90
特別損失		
固定資産売却損	1	-
固定資産除却損	16	33
投資有価証券評価損	32	-
特別損失合計	50	33
税金等調整前四半期純利益	11,475	9,923
法人税、住民税及び事業税	4,314	3,515
法人税等調整額	△269	△178
法人税等合計	4,044	3,336
四半期純利益	7,430	6,586
非支配株主に帰属する四半期純利益	312	334
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,118	6,252

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	7,430	6,586
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△405	346
為替換算調整勘定	△649	△274
退職給付に係る調整額	16	77
その他の包括利益合計	△1,038	149
四半期包括利益	6,392	6,736
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,093	6,388
非支配株主に係る四半期包括利益	298	348

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,475	9,923
減価償却費	1,124	1,319
のれん償却額	954	1,001
返品調整引当金の増減額(△は減少)	1,390	1,015
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△308	△42
売上債権の増減額(△は増加)	△14,954	△14,093
たな卸資産の増減額(△は増加)	△364	△708
仕入債務の増減額(△は減少)	7,569	7,774
その他	2,927	1,174
小計	9,815	7,363
利息及び配当金の受取額	37	60
利息の支払額	△44	△43
法人税等の支払額	△1,125	△1,224
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,682	6,156
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,913	△1,414
有形固定資産の売却による収入	1,066	-
投資有価証券の取得による支出	△8	△8
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△9,214
その他の支出	△459	△521
その他の収入	155	142
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,159	△11,017
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△396	6,688
長期借入れによる収入	3,050	30
長期借入金の返済による支出	△1,736	△1,338
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,221	△2,322
非支配株主への配当金の支払額	△242	△233
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△739
その他	△64	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,612	2,023
現金及び現金同等物に係る換算差額	△181	△7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,728	△2,844
現金及び現金同等物の期首残高	11,391	11,979
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	181	-
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	119	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,421	9,135

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。